

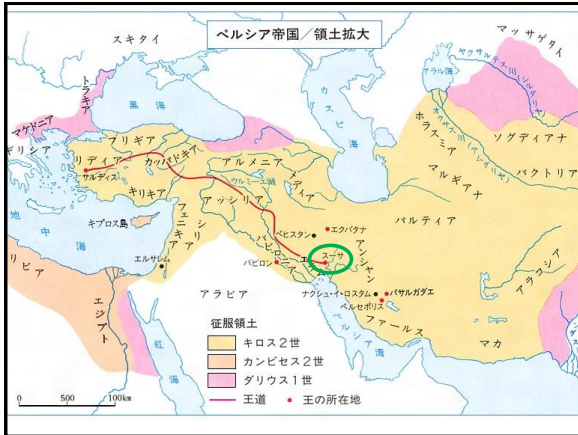
「一人の孤児が 人類を救った」

エステル記4章13~15節

1



2



3

主要人物

- エステル
- モルデカイ
- アハシュエロス(クセルクセス)王
- ハマン

4

高慢ハマン

- エステルの養父モルデカイは、王を暗殺しようとする計画があることを、エステルを通して王に伝えて、王の命を救った。
- モルデカイは褒美を受けなかった。
- ハマンは王に気に入られ、王に次ぐ地位に任命された。
- ハマンは成功の階段を登りつめた。
- 良い人ではなかった(高慢、わがまま)。
- 成功したが、人間として成長していなかった?

5

高慢ハマン

- 人々はハマンの前でひれ伏したが、モルデカイはそうすること拒んだ。
- モルデカイがユダヤ人であることがハマンに知られた。
- ハマンはモルデカイを処罰するだけでなく、ペルシャ中のユダヤ人を根絶やしにする計画を立てて王の承諾を得た。
- くじを引いて(プル)、第12の月(アダル)の13日にすべてのユダヤ人を殺して家財を奪えという法令が発布された。

6

モルデカイはエステルに返事を送って言った。「あなたはすべてのユダヤ人から離れて王宮にいるから助かるだろうと考えてはならない。もし、あなたがこのような時に沈黙を守るなら、別の所から、助けと救いがユダヤ人のために起ころう。しかしあなたも、あなたの父の家も滅びよう。あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、この時のためであるかもしれない。」

エステルはモルデカイに返事を送って言った。「行って、シュシャンにいるユダヤ人をみな集め、私のために断食をしてください。三日三晩、食べたり飲んだりしないように。私も、私の侍女たちも、同じように断食をしましょう。たとい法令にそむいても私は王のところへまいります。私は、死ななければならぬのでしたら、死にます。」 エステル4:13-16

7

高慢ハマン

- エステルは王に受け入れられた。王とハマンを宴会に招いた。
- そのことでハマンは喜んだが、門の外に荒布を着て喪に伏していたモルデカイを見た。
- 妻や友人たちの助言に従い、モルデカイをつるすための22メートルの柱を立てた。
- (たまたま?) その夜王は眠れなかった。王の記録の書を家来に読ませた。その中にモルデカイが王の暗殺を阻止したということが記されており、まだ褒美を与えていなかったことが分かった。

8

高慢ハマン

- ちょうどその時ハマンがモルデカイの処刑することを王に報告するために来た。
- 王はハマンに聞いた。「王が栄誉を与えたいと思う者にはどうしたらよかろう。」
- 「王服に王冠をつけさせ、王の馬に乗せ」町の広場で「王が栄誉を与えたいと思われる人はこの通りである。」と人々に教えてください。
- 王はモルデカイに、ハマンの言う通りのことを行えと命じた。「思い込み」の危険性
- 自分の意に反して黄金律(マタイ17:12)を行った

9

(自分を)捨てるエステル

- ハマンは王の家来としては最高の地位について
- エステルも女性として、女王(王妃)という最高の地位について
- ハマンは自分のことしか考えなかったが、エステルは、神と、神の民のことを考えた。そのために自分の持っているすべてを捧げて仕えようとした
- ハマンは自分の持っているものをすべて自分ために使おうとした。エステルは自分の持っているすべてを神の栄光のために使おうとした。

10

高慢ハマンから学ぶ

- 人の心の高慢は破滅に先立ち、謙遜は栄誉に先立つ。箴18:12
- 思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。カラテヤ6:7
- そのとき、王の前にいた宦官のひとりハルボナが言った。「ちょうど、王に良い知らせを告げたモルデカイのために、ハマンが用意した高さ五十キュビットの柱がハマンの家に立っています。」すると王は命じた。「彼をそれにかけて。」こうしてハマンは、モルデカイのために準備しておいた柱にかけられた。それで王の憤りはおさまった。エステル7:9-10

11

高慢ハマンから学ぶ

- ハマンの企てたユダヤ人虐殺の計画は失敗に終わった。
- 悲しみと死の日が祝宴と喜びの日に代わった。エステルは命令によって「プリム」(プル=くじ神がくじをひっくり返した)という祭りになった。
- 神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益とさせていただきますことを、私たちは知っています。ローマ8:28

12

エステルから学ぶ

- それから、イエスは弟子たちに言われた。「**だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。**人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありません。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。 マタイ16:24-26、ヨハネ12:24-25

13

捨てるエステルから学ぶ

- 「あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、**この時のためであるかもしれない。**」 エステル4:14
- 「私は、**死ななければならないのでしたら、死にます。**」 4:16
- 自分の命を神のものとしたひとりの女性が人類を救った。「**約束の種、子孫(イエス)**」を守った。
- **イスラエルが選ばれた理由は全人類の救いのため。**自分のためではない！今日のイスラエル？
- 私たちも同じ、神の目的のために選ばれている
- 用いられるチャンスを求めながら生きる コロサイ 4:5-6

14

捨てるエステルから学ぶ

- 外部の人に対して賢明にふるまい、**機会を十分に生かして用いなさい。**あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。 コロサイ4:5-6
- 高慢ハマンからは、高ぶり、思い込み、自己中に注意することを学びましょう。捨てるエルテルからは、へりくだることと神に信頼し従う忠実さを学びましょう。また**日々心のエステに励みましよう。**

15